

取組を進めるポイント

こどもまんなか社会を 作るため



こども・若者の社会への参画や 意見の反映に向けて

こどもの意見を反映して、こどもが今よりもっと社会に参加していける社会にするために、国が政策を決めるプロセスにこどもや若者が参加できるようにすることなど、色々な取組をしていくよ。



具体的には、調査・研究をしたり、人材を育成したり、地域の支援体制を構築・強化したりと、色々なアプローチをしていくことが決まっているんだ。

ユニセフなどの国際機関と連携を強化しながら、内閣総理大臣がリーダーとなって、こどもがより健やかに成長し、生涯にわたって幸せに生きられる社会を実現していくよ。

こども大綱が できました！

こどもまんなか社会を目指して



こどもまんなか
こども家庭庁

はじめに

ウサノビとこの冊子について



僕はウサノビ。
こどもの幸せな未来のために作られた
「こども大綱」を見ていこう！

4つの内容が書かれているよ！

- ① こども大綱ができた背景
- ② こども施策の基本的な方針
- ③ こども施策で大切なこと
- ④ こども施策を進めるために必要なこと

はじめに

こども大綱が作られた目的



こどもや若者、子育ての当事者が
幸せに生きられる社会の実現

「こども大綱」は、全てのこどもが健やかに成長し、将来にわたって幸せに生活できる社会を、国や地域が中心となって作るために作られたんだ。

そんな社会の実現には、こどもに関わる問題を社会全体の課題として、みんなでこどもや若者、結婚・子育ての当事者のことを考えながら、課題の解決に取り組んでいく必要があるよ。



全てのこどもが健やかに育ち、ずっと幸せに生活できる「こどもまんなか社会」を作るため、こどもにとって一番の利益を最優先に取り組んでいくよ。

こども大綱の基本となる考え



こども施策の基本的な方針

- ① こどもの権利を大切に、最善の利益を考えるよ
- ② こどもや子育て当事者と話し合いながら進めるよ
- ③ こどもの年齢などに合わせて切れ目なく支援するよ
- ④ 全てのこどもが健やかに成長できるようにするよ
- ⑤ 若い人たちが、子育てに希望を持てるようにするよ
- ⑥ 全体を見ながら、色々な団体と協力して取り組むよ



こどもや若者には なにが大事？



ライフステージを通して重要なこと

「こどもまんなか社会」の実現には、

- ・全てのライフステージに共通して対処すべき課題
- ・各ライフステージで対処すべき課題
- ・子育て当事者の支援にあたって対処すべき課題

3つをよく考えながら取組を進めていくことが大切なんだ。

例えば、こどもに権利があるってことを社会全体に知ってもらうこと、こどもにいろいろな遊びをしたり活躍をしたりするチャンスがあること、こどもが暴力や犯罪から守られることなどは、全てのライフステージに共通して大切なことだよ！



取組で大事なこと

こどもや若者には なにが大事？



誕生前から青年期 にかけて重要なこと

こどもの誕生前から小学校に入るまでくらいの時期は、こどもとお母さんのどちらも安心して受け続けられる保健や医療のサポートと、こどもが安心安全に成長できる場所とたくさん遊べるのが大事だよ。

小中学生の時期には、安心して通える学校体制や、安心できる居場所があること、いじめが起きないように事前に予防をすることなどがとても重要なんだ。



学校では、校則を見直したり、先生たちが不適切な指導をしないように取り組んだりしていくよ。高校生以上になっても、支援は途切れず続くよ。

こども施策の基本的な考え

こどもや若者には なにが大事？



子育て当事者の支援において 重要なこと

核家族化が進んでいて、地域のつながりも希薄になっている。そんな現代で子育てをする人たちは、周囲からの助言や支援を周りから受け取りにくくなっているんだ。



子育て世代が仕事や経済的なことで悩むことなく、安心してこどもに向き合えるようにすることが、こどもが安心して成長していくカギ。

だから、これからは子育てをするおとなたちの負担を減らして、不安なく子育てをしていけるように支援していくよ！